

## 長期休業期間前に交通安全の意識を高める学習の事例

交通

小学校 第2学年 特別活動（学級活動）

### 授業づくりのポイント

- 具体的な場面の絵から起りうる危険を予測し、それを回避する行動を考えさせる。
- 「交通安全教育DVD」を見て、安全な行動についての理解の定着を図る。

### 単元（題材）について

1 題材名 「楽しい夏休みの過ごし方について考えよう」

2 目標

II-1 道路の歩行と横断および交通機関の利用

道路における様々な危険や交通法規について理解し、安全な歩行ができるようにする。

3 教材化の視点

道路の安全な歩行については、普段歩いている道路を例に挙げ、天候や時間帯等に関わる危険を意識させながら状況に応じた歩き方ができるように日常的に朝の会や帰りの会等に一声指導をしている。また、4月の交通安全教室では、5～6名のグループになり、学級周辺の道路を歩く実践を通して、安全な歩行について学習している。

今回の学習では、視覚資料で危険な状況を具体的に提示することで、危険な状況が起こりやすい状況を把握するとともに、危険を回避する行動を考えさせることで主体的に安全を意識した行動ができるようにする。

### 指導計画（1時間扱い）

| 時間        | ○主な学習活動  | ◎安全教育の視点に立った留意点  |
|-----------|--|--|
| 1<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○提示された具体的な場面について、今までの経験や既習事項を基に、どのような危険があるかを予測する。</li> <li>○危険を回避するための安全な行動を考える。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な場面は、安全通知や小学校低学年が対象となった事故事例等を参考にし、児童が実感をもって考えられるようになる。</li> <li>○道路における様々な危険や交通法規について理解し、安全な歩行ができるようになる。</li> </ul> |
| 事後指導      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的な安全指導の時間に、危険を回避するための安全な行動ができているかを振り返らせる。</li> <li>○夏休み期間中に交通安全について意識して過ごせたか、具体的な取組みを挙げさせて振り返らせる。</li> </ul> |  |

## 指導事例（第1時／1時間）

### 1 ねらい

道路における様々な危険を理解し、その回避方法を具体的に考えることができる。

### 2 ポイント

- 児童にとって身近に起こる可能性のある危険な場面を視覚資料で提示し、危険な理由と危険を回避するための安全な行動を具体的に考えさせる。

### 3 指導の実際

|     | ○主な学習活動   | ◎支援・留意点  | ■評価（評価方法）  |
|-----|---|--|--|
| 導入  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通安全について学習したことを振り返る。</li> <li>○本時のめあてを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">どんなきけんがあるかを見つけ、安全な行動を考えよう。</div>   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○4月の交通安全教室、生活科まちたんけん、学年遠足の際に学んだことを想起させる。</li> </ul> |
| 展開  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な場面が分かる視覚資料から、どのような危険が起こるかを予測する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考えた後、ペアで考えを共有する。</li> </ul> </li> <li>○危険の要因と起こりそうな危険について、ワークシートに書く。           <ul style="list-style-type: none"> <li>歩道のギリギリに立っている。<br/>→道路を走っている車と近く、ぶつかりそう。</li> <li>友だちとふざけたり、あそんだりしながらわたっている。</li> <li>→周りを見ていないから、車や自転車が来るのに気づかず、ぶつかりそう。</li> <li>踏切の音が鳴っているのに、わたらうとしている。</li> <li>→音が鳴っているのは電車がすぐに来る合図のため、よゆうをもってわたるためにもふみきりには入らない。</li> </ul> </li> <li>○考えたことをグループで話し合い、発表する。</li> <li>○「交通安全教育DVD」を見て、どうすれば安全なのかを理解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○黒板に、4つの場面が描かれたイラストを掲示する。</li> <li>○今までの経験や既習事項を参考に考えるよう促す。</li> <li>○何が危険なのか、どのようになりそうだから危険なのか等、理由を考えるようにさせる。</li> </ul> |        |
| まとめ | ○本時の学習内容を振り返り、今後意識することをワークシートに書く。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後意識することについては、夏休みの過ごし方も踏まえて考えさせる。</li> <li>■道路における様々な危険を理解し、自分たちの安全を守るために自身が気を付けることを具体的に記述している。<br/>(ワークシート)</li> </ul>  |  |

### 児童の感想

- いつも通る道にも危険な場所があることがよく分かった。今まででは危ないと思っても、どうすればよいか詳しく考えていなかった。自分の身は自分で守るために、いつでも安全な方法を考えて行動したい。

### 児童の変容

- 事後指導の振り返りや日常的な安全指導の場面で、各自が自分が決めた交通安全に関する約束を継続的に意識させることで、落ち着いて登下校をしている児童が増えた。